

エフエム宇治放送株式会社 第279回番組審議会議事概要

- ① 開催年月日 令和4年9月29日 14:00～16:00
- ② 開催場所 宇治商工会議所(京都府宇治市宇治琵琶45番地の13)議員講話室
- ③ 委員の出席 委員総数 7名
出席委員数 6名
放送事業者側出席者名 1名(局次長)
- ④ 議題
(1) 災害特集コーナー「京都府南部地域豪雨災害から10年 災害への備えを」8月11日(木)放送分

- (2) 報告事項

担当パーソナリティ変更と、新人パーソナリティ3名加入について
新番組について
オンラインセミナー「人生100年時代の賢いお金の育て方」連携企画について
AIアナウンサー導入について

- ⑤ 議事の概要 専門的な話をパーソナリティとゲストのトークで分かりやすく伝えられ、内容も充実していた。総論的な話にならず、地域に特化した話にも繋がられコミュニティ放送らしさが出ていた。番組を通じて専門的な情報に接触できる企画を続けて試みてほしい。などの意見が多数出された。

- ⑥ 審議内容

局次長 京都府南部地域豪雨災害から10年を契機に、8月8日(月)～12日(金)の以心伝心888で過去の災害を振り返り、この先私たちが災害にどの様に向き合っていけばよいのかを考える特集コーナーを放送しました。7月24日に京都大学宇治おうばくプラザきはだホールで行われた「京都府南部地域豪雨災害シンポジウム」の様子を収録した音源を放送する他、当日基調講演を行われた水文気象学第一人者 京都大学防災研究所の中北英一所長をゲストに地球温暖化が影響する自然災害の脅威について、そして、この地域での豪雨災害のリスクについてお話をお聞きしました。
本日は、8月11日に放送した中北所長のゲストトークの様子を聞いて頂きたいと思います。
担当パーソナリティは近藤智子です。

～同録～

委員 冒頭に紹介がありました「水文気象学」は初めて聞きました。文字で改めて見るとなんとなく想像はできますが、口頭上では耳なじみがなく、わかりにくいかもしれません。紹介と同時に詳しい説明があればよかったですね。

委員 学術的な気象災害の話でも、分かりやすく聴きやすかったです。
パーソナリティも聞き手として、リスナーの目線で具体的に質問できていました。

委員 実際住んでいても、知らなかった話など驚くエピソードがあり聞いてとても興味がわきました。

委員長 六甲山から宇治までに来る雨の話など、地元の身近なトピックスでおもしろかったです。
コミュニティ放送らしさがでた番組だなと感じました。

委員 専門用語も少なく、このエリアの話にも結び付けて話されていたのが良かったです。

委員 今回は約25分のお話でしたが、一方的に情報を伝えるのではなく、筋道立てた番組構成で、長いと感じませんでした。

委員 パーソナリティの相槌や質問のタイミングも上手く、話がスムーズでいい印象を受けました。

委員 水防団についてや自然災害への適応などもう少し時間をかけて話が聞きたかった。

委員長 宇治には京都大学防災研究所があるので積極的に地元の利を生かして、専門的な話を番組を介して、分かりやすく伝えてほしい。

委員 色んな視点で防災、災害について発信できると思うので、特別番組だけではなく通常の放送でも企画してみてもどうでしょうか。